

令和5年度 シラバス

教 科	商 業	科 目	財務会計Ⅰ	学 年	第2学年	学 科 類	科 型	商業科
単位数	2単位	教科書	新財務会計Ⅰ（実教出版）					
副教材	反復式 学習と検定		会計問題集（実教出版）					

学習目標	1 株式会社における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術を身に付け、理解を深めます。 2 株式会社の日常的な取引を合理的・能率的に記帳する方法と会計理論の基本的な仕組みについて学習します。 3 貸借対照表や損益計算書などの財務諸表を分析し、活用する能力と態度を身に付けます。
------	--

キャリア教育の視点	ビジネスの役割や経済の発展を担う企業の活動について理解を深めることで、将来、経済社会で活躍する一員として、望ましい心構えを身に付け、学校から社会への円滑な移行につなげます。
-----------	---

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
2 学 期	8月	第4編 財務諸表の活用	財務諸表のディスクロージャーについて学び、さらに、財務諸表分析について学習します。	期末考査
	9月			
	10月			
	11月			
3 学 期	12月	第5編 連結財務諸表	企業グループに関する情報を得るために有用な連結財務諸表の概要を学習します。基本的な資料を基に連結財務諸表の作成方法について学習します。	学年末考査
	1月			
	2月			
	3月			

学習の方法	「財務会計Ⅰ」の授業では、赤ペンや電卓などを利用します。また、ノート作成方法にもそれぞれ独特の工夫を凝らすことが重要です。 単に教科書や板書をまとめるだけでなく、その背後にある複式簿記の考え方を理解しましょう。まずは仕訳処理をマスターしましょう。 教科書と併用される問題集も丹念に予習・復習をしましょう。
-------	---

評価の仕方	知識・技術は、定期考査の成績と平常点で評価します。平常点は、検定の取得状況、小テスト、授業態度、課題や提出物などを総合的に評価します。 思考・判断・表現は、習得した知識や技術を既存の知識や技術と関連付けたり、他の学習や生活の場面で活用したりすることができているか評価します。 主体的に学習に取り組む態度は、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながらよりよく学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。
-------	--

備考	
----	--